

## 共同研究支援報告書

氏名	水谷 柳子
所属大学名	金沢大学
職位	博士研究員
研究題目	「ことばのつかいかたテスト」台湾版開発予備調査及び台湾人日本語学習者の語用能力調査

短期支援(1年)

長期支援(3年) 1年目

<p>本年度の内容報告</p>	<p>今年度：研究課題採択時には、日本から台湾への入国は難しい状態であったため（2022年9月29日より台湾において査証免除措置再開）台湾台東大学 黄愷芬 教授を日本・金沢大へ招聘し研究計画の策定を行なった。</p> <p>調査開始にむけてのmeeting（研究計画）2023/3/23  出席者：黄 愷芬 教授 台湾国立 台東大学  高田 敦子 氏 meux creation代表（TOPJC開発サポート）  野中 晶史 氏 アニメーション・ディレクター  大井 学 協力研究員 金沢大学子どもこころの発達研究センター  水谷 柳子 博士研究員 金沢大学子どもこころの発達研究センター</p> <p>議題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 日本と台湾の文化差・言語差を考慮した修正について</li> <li>2) アニメーション+音声の変換について</li> <li>3) 台湾でのTOPTC標準化について</li> <li>4) 日本語学習者へのTOPTC調査</li> </ol> <p>1) 台湾版に即したアニメの内容について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>a) 4下位領域（皮肉・間接依頼・丁寧さの調節・その他）⇒ 翻訳のみで通用する</li> <li>b) 下位領域 比喩5課題のうち3課題は、内容を台湾文化に即した物にする</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>●（課題）お医者さんのたまご ⇒あなたは夜猫子（夜更かし）って知ってる？という内容に変更する</li> <li>●（課題）お化粧で化ける ⇒要検討（台湾ではお化粧があまり一般的でない）</li> <li>●（課題）泳がせておこう ⇒プラスチック（元々の意味のほかに、無視するとか存在が気薄であるなどの意味で用いられる）</li> </ul> <p>2) 音声・字幕の台湾語への変換  台東大学デジタルメディア・文教産業学科の教授及び大学生の応援が得られる  台湾版作成：字幕・音声を台湾語へ変更（声優さんのクオリティに留意する）</p> <p>今後の作業について</p> <p>2023/4～12台湾版ことばのつかいかたテスト（TOPTC）作成  2023/12～2024/7 標準化データ取得1500名目標 及び臨床群200名調査  信頼性妥当性を検証しつつ標準化に向けてデータを取得する  2024/8～2024/3 台湾人日本語学習者への調査100名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学習中の台湾学生</li> <li>・台東大学・台北の大学や高校で可能（学習3年目以降を対象）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理審査（金沢大・大阪大共同研究計画（許可済）への加筆修正を行う）</li> <li>・科研費及び民間グラント出願を予定</li> </ul>
成果(論文発表等)	なし